

シナリオオンライン形式でBCP訓練

大成ロテック
南海トラフ想定

大成ロテックは1日、全国
の拠点で南海トラフ地震

を想定したBCP（事業継続計画）訓練を行った。

「大規模災害発生直後に必要な判断力を養う」をテーマに設定。平日の業務時間に地震が発生したことを想定し、訓練の前提となる被災想定を直前まで明かさないシナリオオンライン形式で取り組んだ。同社やグループ会社の社員1658人が参加した〓写真（大成ロ



テック提供）。

新たに外部有識者による防災セミナーや帰宅困難者の発生を想定した訓練を行い、本社災害用備蓄品を配布。災害時の通信手段として一部支社に導入済みの非常用通信機器を全支社に導入し、シナリオオンライン訓練と連携した訓練も行った。システムを用いた従業員の安否確認や、被災支社

の要請を待たず自発的に支援を開始するプッシュ型支援も訓練した。

加賀田健司社長は「災害は大きく備え、小さく収めることが基本。想定外をゼロにするため、日頃から災害を想定した行動を心掛けるとともに、今回の訓練で認識した課題を水平展開しBCPの実効性を高めていくってほしい」と総括した。

